



公民館運営審議会委員 久保 千晶
(家庭教育関係者)

世の中のデジタル化が進み、生活の中にも様々な変化があります。ついていくのがなかなか大変です。

スーパーのセルフレジでの会計がどうにかスムーズにできるようになりました。レストランのタブレットでの注文もなんとかできるようになりました。なんと注文だけでなく、料理を運ぶのはロボット、食事後の会計はセルフレジと、飲食店で全く人間を介さないこともあり驚きます。

便利といえば便利ですが、私のような不慣れな者はかえって操作が面倒だと感じます。ネット通販もしかり、電話で注文したほうが手取り早いと思うことがあります。

これからますますデジタル化は進むでしょう。もっと使いこなせるようにならないと、と思います。でもその反面疑問もわきます。高齢の方（なかにはデジタルを駆使されている方も多くおられますが）、操作が不自由な方、デジタル機器を持たない方などはどうなるのでしょうか？

かえって生活しづらくなってしまうのでしょうか？たくさんの方が便利に効率良くなるのは喜ばしいですが、デジタルの波に乗りきれない人々が置き去りにならないでほしいです。

公民館の利用についてデジタルをどのように生かしたら良いか検討中です。今までより利用しやすくなり、いろいろなことができるようになると公民館の可能性がぐんとひろがるでしょう。

同時に従来の公民館の良さは、デジタル化がどんなに進もうと大切にしていきたいです。それは人と出会ったり、人と関わることです。

デジタルをうまく取り入れながら持ち味を生かして、もっともっと充実した公民館になるよう考えていきたいです。

公民館運営審議会活動報告

公民館運営審議会は公民館が行う各種事業を調査・審議することを目的に、毎月1回開催しています。5月と6月の主な内容をお知らせします。

◇5月11日（月）

会議の冒頭で行うひとことタイムは、委員の方が日々の中で感じたことや出来事などを発表し、また他の方のコメントを聞きながら、お互いの理解を深めるために毎回行っています。今回もひとことタイムから始まり、事務局の主な事業報告の後、答申作成に向けて委員同士の意見交換を行いました。

様々な立場からのアイデアが出るなかで、あまりデジタルに振り回されず、活用しつつも、公民館の良さは失わずに、それを活かす一つの手段としていくこと等、

答申の基本的な考え方の方向性をまとめました。

◇6月8日（月）

ひとことタイムの後に事務局より、東京都公民館連絡協議会や委員部会の研修会予定の報告、主催事業の報告を行い、答申に向けての協議を行いました。

ここで前回の答申の中でも時間をかけて協議した公民館の魅力や人と人を繋ぐという役割に着目し、それを土台にデジタルの可能性を加え、利用する方が便利に、より幸せになることを目標にする考え方で答申を作り上げる方向性がまとまりました。

※公民館運営審議会は、第2月曜日の午後6時30分から、月1回の定例会を行っています。休館中の会場はアキシマエンスシ校舎棟です。傍聴も可能です。

公民館利用者連絡会 けいじばん

第4回「かるがもカフェ どこでも公民館」の案内

日時：9月26日（土）午後2時～

場所：昭和会館2階 集会室

12月6日（日）のイベント「ただいま、おかえり」企画の提案と相談をします。

かるがもカフェのプログラムは、ギターマンドリン倶楽部ドレミとザ・クロック（バンド演奏）の発表です。ジャンルの違う音楽サークルの演奏を楽しみながら交流を深めましょう。

12月の企画アイデア、スタッフを募集中です。

問い合わせは公民館事業係まで